

各委員会の活動計画

地域協議会では、4つの委員会をつくり活動しています。
以下本年度の活動内容と今後の活動予定をお知らせします。

* 地域振興委員会

地域振興委員会は、「誰もが塩田地域に住んでよかった」と言われる、安心で安全な地域づくりを目指して活動することを目的としております。少子高齢社会の中にあって、「向こう三軒両隣」がいきなりながら、地域福祉の推進を目指します。塩田地域の歴史や文化を大切にしながら、「訪ねてよかったです」と言われる元気の出るまちづくりを目指した活動に努めます。

委員長 南雲 典子

*ため池活用委員会

今年3月「全国ため池百選」に塩田平ため池群が選定されました。これを機に、ため池の有する重要性と多様な役割を再確認し、地域の大切な資源として保全・活用を図ろうと当委員会が設置されました。委員会活動として現在、農業用水として活用されている41のため池の実態調査を進めています。今後、塩田平ため池巡りのマップ作製や池の歴史、特徴を記した看板設置を視野に入れ、ため池を管理する自治会や農家組合等管理団体と合議しながら、地域活性化の一助として取り組んでまいります。

委員長 中村 保人

塩田地域協議会だより

平成22年10月15日発行
第5号
事務局：塩田地域自治センター
電話：38-3000

* 地域交通委員会

地域交通委員会は、「別所線電車存続」をはじめ、バス路線の維持や運行経路の拡大など公共交通の充実を図る中で、安全で安心な地域社会の実現を目指して活動することを目的としております。「別所線電車存続」については、今後3年間行政の支援が明確にされましたが、住民自らが「乗って残す」運動を展開する必要があります。また、別所線電車から離れた地域では、バス路線の維持や運行経路の拡大など、公共交通の充実に向けて取り組んでまいります。

委員長 関村 敬

* 広報委員会

広報委員会では、協議会の活動を中心によりあげて、年2回の「地域協議会だより」の発行を行っています。また、現地観察等を行い、地元の人にもあまり知られていない場所等を紹介していきます。

委員長 奎村 文子

安心安全な地域づくりをめざして

自治会の役割

自治会の役割

親睦機能 ………………運動会、祭礼、慶弔等

共同防衛機能 ………………防災、防犯、交通安全等

環境整備機能 ………………側溝、街灯、道路等の管理、清掃等

行政補完機能 ………………行政連絡の伝達、保健、募金協力等

要望提出機能 ………………行政への陳情、要望等

その他機能 ………………社会教育機能、地域内調整機能、地域代表機能、地域福祉機能等

塩田地域協議会 会長 大口 義明

■ 塩田地域協議会の管内観察について

去る7月16日(金)当協議会では、塩田地域の管内観察を実施しました。この地に保存されてきた史跡や「全国ため池百選」に選ばれた舌喰池をはじめ、いくつかのため池も故事情報を聞きながらゆっくりと観察。今までなんとなく見過ごしてしまったことの何と多いことを改めて感じました。どうてい一日では回りきれませんが、こうした先人の遺したメッセージを現代の我々がしっかりと受け止め、これを基礎に「まちづくり」を皆で考えて行こうとするのが地域協議会の方針です。行政や一部の人たちだけで考える「あるべき姿」から、地域住民みんなで考える塩田の「ありたい姿」へ、そうした環境づくりをしていければと願っています。

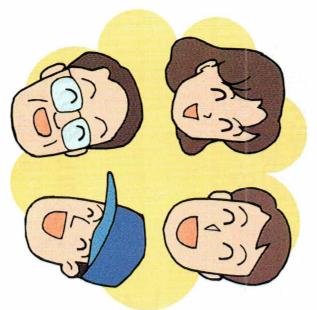


舌喰池ありますよ

編集後記

厚生労働省が「敬老の日」を前に、今年の100歳以上の高齢者は、全国で過去最高の4万4449人と発表がありました。長野県内も1032人で男性152人、女性880人と過去最高を更新のことです。また今年県内で100歳を迎えた方は574人で、男性84人、女性490人とそのうちの6割を占めています。京都大徳寺内大仙院住職尾関宗園が、伊藤博文公の孫の米寿のお祝いに「五六十花ならつほみ、七十八十は働きござかり、九十になって迎えが来たら、百まで待てと追い返せ」という詞を贈ったそうですが、健康で長生きをしたいのですね。それでも多くの不明高齢者がいることはびっくりしました。家族の絆、地域の連携などのより一層の必要性が改めて感じられます。

塩田地区自治会連合会と塩田地域協議会との懇談会



平成22年8月11日、塩田公民館大ホールにおいて、塩田地区自治会連合会と塩田地域協議会との懇談会が30名の自治会長の出席のもとに行われました。懇談は、地域の重要な事項の決定に市民の意見や要望を反映させるための活動をしている地域協議会と、安心・安全な地域づくりを目指して様々な活動を展開している自治会連合会との意見交換や新たな展望等を目的に開催しました。以下、参加された自治会長の声を紹介します。

●懇談会に参加して

都合によりお盆直前となり皆さん格別にお忙しい中 参加いただきました。地域協議会の概要の説明があり、協議会による意見書の提出、わがまち魅力アップ応援事業の採択等については質疑や意見交換がありました。が、その他の件については双方が取り組みや問題点を発言するにとどまりました。振り返って事前の準備の重要性を改めて痛感いたしました。

協議会と自治連は組織としての違いを持っていました。市の付属機関としての協議会、市政との協力関係を持ちながらも自主的組織としての自治会・自治連。長期的視野にも立ち地域の課題を明らかにし意識集約・具申に当たる協議会に対し、住民と直に向き合いむしろ当面する問題の解決・処理に当たるのが自治会・自治連の仕事です。今後は連携できることはなにかを十分踏まえた話し合いにしていきたいと思います。

山田自治会長 竹下茂夫

他自治会の詳しいことは分りませんが、私の自治会では毎年新役員に変わります。

昨年は、副自治会長の立場でしたが、協議会には出席しませんでした。

今回初めて出席、主旨がつかめず終わつたという感じでした。これは私の勉強不足・内部引き継ぎ内容の不手際等は否定しませんが、やはりお互い大変忙しいなかでの一つの大重要な会議だと思います。そして東塩田・中塩田・西塩田・別所温泉の各地区それぞれ若干ずつ内容は違うし、共通点もあると思います。各連合会でも、同様な会議は持たれていると思いますが、塩田全体の協議会の前に各連合単位での正副自治会長出席の協議会を持ち、まとめてから合同協議会として取り上げるべき問題点を決める等の方法は取れないものでしょか。有意義な懇談となることを期待致します。

舞田自治会長 井上道男

塩田地域協議会委員名簿

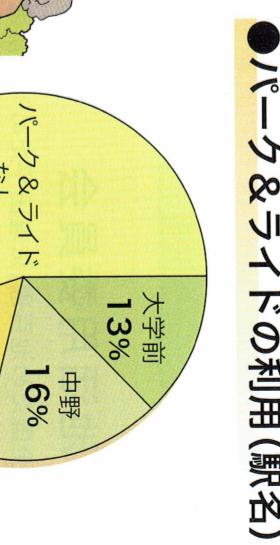
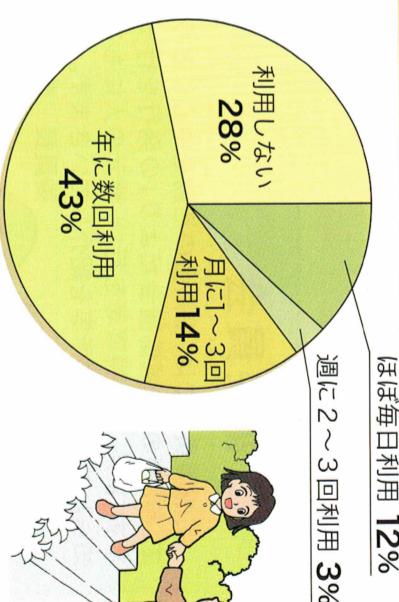
氏名	自治会名	選出団体等
1 石黒 みつる	五 加	商工会議所塩田支所
2 伊藤 利孝	下之郷	上田市自治会連合会
3 大口 義明	手 塚	農水保全対策委員会
4 関川 村	徳 分	個人依頼
5 中田 英明	五 加	上田市自治会連合会
6 小林 亮一	こぼやし 亮一	上田市自治会連合会
7 清水 あい子	東前山	上田市健康推進委員(塩田Bプロック)
8 関田 昌代	柳 沢	個人依頼
9 竹下 茂夫	山 田	上田市自治会連合会
10 玉木 仁志	院 内	塩田中学校PTA

(任期: 平成24年3月31日まで)

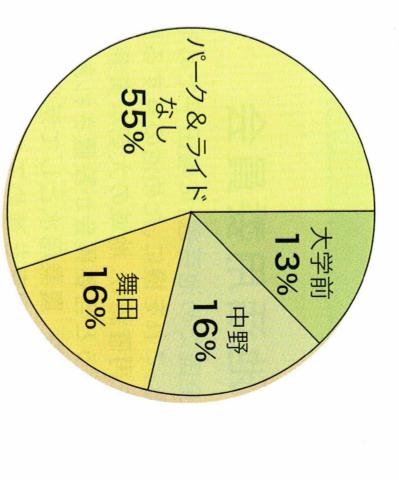
別所線電車存続に 関するアンケート調査

調査期間	平成22年1月15日～平成22年1月31日
調査対象範囲	塩田地域自治会加入世帯
対象戸数	6,302戸
調査課題	将来にわたる別所線電車存続に向けて、地域の実態や住民意識を把握して、今後の活動に反映するために実施。

●利用状況について



●存続対策について



まとめ

アンケート調査を通じて、車社会の現実があるにせよ、別所線電車存続は地域住民すべての願いである。このアンケート調査結果を踏まえて、要望や意見を吟味し社会や行政、地域住民が前向きに話しあう機会を設けることが必要である。別所線再生支援協議会の参画団体や別所線電車存続期成同盟会、地域協議会との連携を図ることも重要である。とりわけ、別所線電車存続期成同盟会と地域協議会が活発に意見交換を行い、中心となつて存続に向け共々努力すること不可欠である。また、沿線である城南及び川西地域協議会と、同一歩調で運動を推進しなければならない。塩田平の素晴らしい自然、貴重な文化遺産を大切にする構えと共に、後世まで守り続けるためにも別所線電車の役割は大きいものがある。別所線電車の存続については企業、行政及び上田市民が一体となって努力しなければならない。